

インテック、生化学工業の全社データ活用基盤を構築し、 基幹システムをパブリッククラウドへ完全移行 ～全社的データ連携と各部門でのデータ活用を実現～

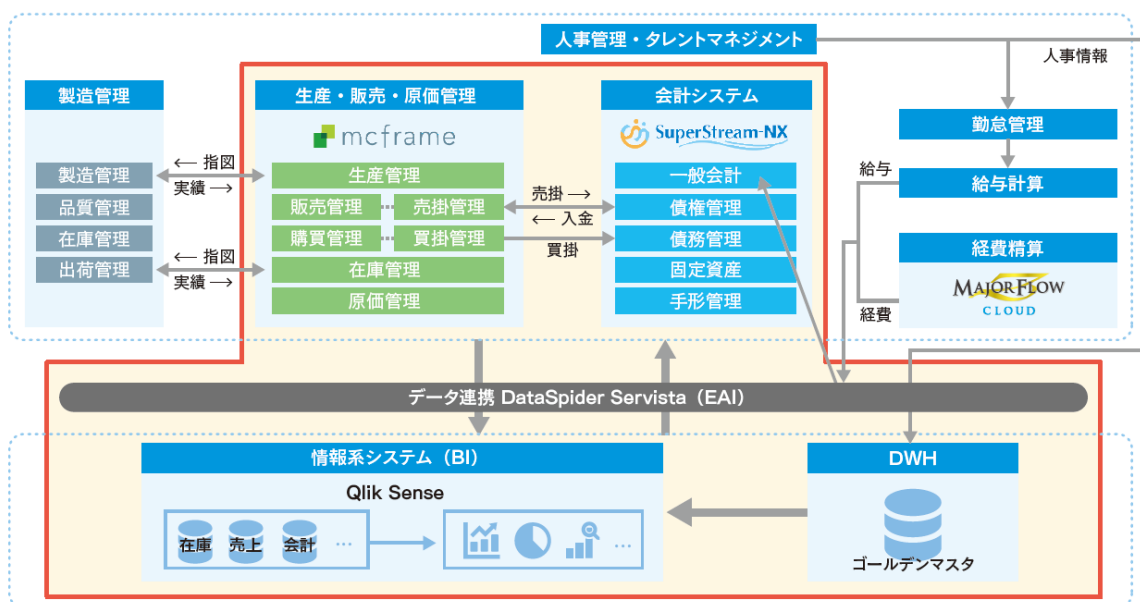
TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は、生化学工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷建、以下生化学工業）のデータ活用基盤を構築し、2021年4月に基幹システムをパブリッククラウドへ完全移行したことを発表します。

■背景

研究開発型の製薬企業である生化学工業は、2007年に導入した会計パッケージ「SuperStream」が2020年にサポート切れを迎えるのを機に、2018年10月から基幹システムの見直しとシステム基盤再構築の検討を開始しました。新薬開発の技術革新や、薬価改定が2年に1度から毎年実施に変更になるなど製薬業界の環境変化もあり、新システムには経営判断のスピードアップに繋がる全社データ連携基盤の構築が不可欠でした。また、生産管理、販売管理、原価管理にはSCMパッケージ「mcframe」を使用しており、パッケージベースの基幹システムを今後も継続的、安定的に利用できるようにするため、パブリッククラウドへの移行を必須条件としました。

インテックは製薬業界の実績が豊富であり、生化学工業の旧基幹システムの導入も支援したことから、今回の導入に至りました。

全体システム概要 (赤い枠内のアプリケーションをOCIに移行・構築)



■成果

生化学工業は、会計パッケージの新バージョン導入に際し、業務フローを見直してアドオン機

能をゼロにし、保守費用の大幅削減を実現しました。また、データを蓄積するデータウェアハウス (DWH)、社内の各業務システムからデータを抽出するデータ連携基盤 (EAI) を構築し、さらにデータを分析・可視化するための BI ツールを導入することで、IT 部門に頼らず現場主導でデータを活用する仕組みを実現しました。その結果、経営会議向けの経営ダッシュボード作成、工場での製品の歩留まりチェック、本社の営業部門での販売状況の分析など、データ活用が各部門で進んでいます。

システム基盤にはパブリッククラウド「Oracle Cloud Infrastructure (OCI)」を採用し、基幹システムを OCI に移行したことで、レスポンスの向上、データベース関連のランニングコストの大幅削減を実現しました。バックアップ運用もテープに記録して倉庫に保管する方式からクラウドでのリージョン間バックアップに変更することで、手間と保管スペースの課題を解決できました。

本導入事例の詳細はこちらをご覧ください。<https://www.intec.co.jp/case/detail/45.html>

■今後の展開

生化学工業は、今後は業務系、品質系システムについてもパブリッククラウドに移行することを計画しています。また、論文検索の自動化など、新薬開発の期間短縮に貢献する取り組みも積極的に進めていく予定です。

インテックは、今後も生化学工業の DX に向けた取り組みを支援していきます。

生化学工業について (<https://www.seikagaku.co.jp/ja/index.html>)

糖質科学を専門分野とする研究開発型の製薬企業です。1947 年の創業以来、運動器疾患や眼科疾患領域において独創的で有用な医薬品・医療機器を創製し続けています。また、それぞれの国や製品領域で強みを持つ会社と販売提携することでグローバルに製品を展開し、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献しています。

インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964 年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけていきます。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣

E-mail : press@intec.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック 産業事業本部 製造営業部 担当：鎌仲、吉田

E-mail：MIS_info@intec.co.jp